

Guコンポジット研究センター 開所式を開催しました

平成30年10月3日(水)

岐阜大学は「Guコンポジット研究センター」を、ものづくり分野の拠点として分子の集合体から繊維と樹脂の複合体までマルチスケールに複合材料(コンポジット材料)を研究することを目的に開所しました。10月3日(水)の開所式では、来賓の岩田則子経済産業省中部経済産業局産業部長ほかから挨拶があり、学内外の関係者約220名が出席しました。本センターはアカデミックな面だけでなく、企業連携を重視した研究を進めていきます。



マレーシア国民大学(Universiti Kebangsaan Malaysia)との協定署名式及び在マレーシア日本国大使館訪問を行いました

平成30年10月22日(月)・23日(火)

マレーシア国民大学とともに、国際ジョイント・ディグリー博士課程プログラム協定書署名式を10月22日(月)に行いました。また、10月23日(火)には、森脇学長らが在マレーシア日本国大使館を訪問しました。今回の協定に基づき、平成31年度より、岐阜大学大学院工学研究科に岐阜大学・マレーシア国民大学国際連携材料科学工学専攻を開設しました。

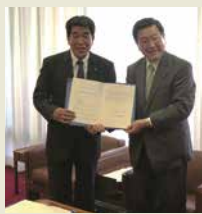


地方自治体と各種協定を締結しました

平成30年10月から平成31年3月にかけて3つの協定を締結しました。活力ある地域社会の形成・発展及び未来を担う人材育成に寄与することを目的に、多治見市・海津市と連携に関する包括協定を締結。さらに、子どもたちの成長を地域全体で支え、活動を通じて地域の活性化を図ることを目的に、岐阜県とぎふ地域学校協働活動センター設置に関する協定を締結しました。

多治見市と連携に関する包括協定を締結

平成30年10月9日(火)



海津市と連携に関する包括協定を締結

平成31年3月4日(月)



岐阜県とぎふ地域学校協働活動センター設置に関する協定を締結

平成31年1月11日(金)



第70回岐大祭が開催されました

平成30年10月25日(木)～28日(日)

「岐大祭」は、学生の研究、学術文化活動及び課外活動の祭典です。毎年、学生が自主的に企画・運営を行い、開催しています。今回のテーマは「Finally～平成史上最高の大学祭～」。ステージイベント、お笑いライブ、作品展、フリーマーケット、大学農場で生産された農産物の販売など、学生が主体となって多くの企画を創り上げ、いつもとは全く雰囲気の違う岐阜大学となりました。



東京海上日動火災保険株式会社岐阜支店と地域活性化に向けた協働教育の推進に関する協定を締結しました

平成30年10月30日(火)

岐阜大学地域協学センターは、次世代地域リーダーの協働育成やリカレント教育の推進を目的に、東京海上日動火災保険株式会社岐阜支店と、地域活性化に向けた協働教育の推進に関する協定を締結しました。本協定を締結することにより、これまで以上に連携を深め、岐阜県内の地域創生並びに地域活性化を担う人材育成に努めていきます。



第35回岐阜シンポジウム「岐阜大学の芸術・文化に浸ろう!」を開催しました

平成30年11月4日(日)

第35回岐阜シンポジウム「岐阜大学の芸術・文化に浸ろう!」を11月4日(日)に開催しました。当日は、岐阜大学教育学部音楽



教育講座の教員及び卒業生による演奏や、教育学部美術教育講座の教員、学部生・院生、卒業生による作品の展示が行われました。キャンパス内にある芸術・文化に触れ、今後の大学構内の理想像を考える有意義なシンポジウムとなりました。

防災シンポジウムを開催しました

平成30年11月20日(火)

近年の自然災害から多くの教訓を学び、学術的知見に基づき、防災・減災について考えることを目的に、「防災シンポジウム」をみの観光ホテル(美濃市)にて行いました。行政職員、地域住民など、定員を大幅に超える280名の参加があり、今後の自然災害について共に考える有意義なシンポジウムとなりました。



秋の国際月間に学長主催国際交流パーティーを開催しました

平成30年11月6日(火)

グローバル推進本部が秋の国際月間の一環として「学長主催国際交流パーティー」を開催し、約220名が参加しました。本パーティー実施の目的は、本学の外国人留学生や外国人研究者・教職員、国際交流に興味のある日本人学生などが広く交流を図ることです。普段はあまり接することのない学長、役員、外国人留学生・研究者、日本人学生・日本人研究者の相互の交流の場であるとともに、多様な人々が交わり異文化理解を深める場として、大変実りある機会となりました。



秋のクリーンキャンパスを実施しました

平成30年11月21日(水)

環境月間行事の一環として「秋のクリーンキャンパス」を実施しました。当日は教職員や学生ら714名が参加。例年通り、本学のキャンパス内に校舎がある岐阜薬科大学の職員や学生も清掃活動に参加しました。また、「大学周辺ゴミ0(ゼロ)活動」には、教職員と有志の学生ら45名が参加。キャンパス内だけでなく、周辺道路や畑の清掃も行いました。



サラマンカ大学と大学間学術交流協定を締結しました

平成30年11月26日(月)

森脇久隆学長と鈴木文昭理事(国際・広報担当)・副学長が11月26日(月)にサラマンカ大学(スペイン)を訪問し、同大学と大学間学術交流協定を締結しました。協定締結に際し、サラマンカ大学のリベロ総長は「創立800周年という節目の年にサラマンカ市と繋がりの深い岐阜県にある岐阜大学と協定を締結したことを大変嬉しく思う」と話しました。協定の締結により、両大学間での研究者及び学生の交流が開始されます。



The 3rd ICCC 2018: A Green Paperless Collaboration Conference Between Sebelas Maret University, Indonesia and UGSAS, Gifu University, Japan を開催しました

平成30年11月27日(火)・28日(水)

岐阜大学大学院連合農学研究科(UGSAS)は、スブラスマレット大学(UNS)(インドネシア)と共に、インドネシアのソロ市のアラナホテルにて、「Climate Change Adaptation and Mitigation: Learning from the Past for Sustainable Strategy Development」と題した国際会議を開催しました。この国際会議は平成30年度で3回目を迎え、気候変動が人間生活や環境問題に与える影響を協力してモニタリングし、改善するための努力を継続しています。



ISO 14001:2015(環境マネジメントシステムの国際規格)の認証登録を更新しました

平成30年12月7日(金)

岐阜大学は、環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格ISO 14001の更新審査を平成30年10月17日(水)・18日(木)に受審し、平成30年12月7日(金)付けで更新しました。審査員からは、EMSの継続的な改善が環境対策における成果に向けた役割を担っていると評価されました。今後も、「環境ユニバーシティ」として、環境パフォーマンスの向上や環境教育・研究の充実を推進していきます。



避難所運営ゲーム(HUG)を行いました

平成30年12月12日(水)

岐阜大学危機管理委員会は、学生の災害に対する意識の醸成のため、12月12日(水)に、避難所運営ゲーム(HUG*)を行いました。学生は、実際の災害さながらにリアルタイムで発生する事象について、戸惑いながらも対応していました。



*HUG: HUGは、H(hinanzyo:避難所)、U(unei:運営)、G(game:ゲーム)の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。

独立行政法人国立病院機構長良医療センターと教育研究に係る連携・協力に関する協定を締結しました

平成31年1月15日(火)

岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科と独立行政法人国立病院機構長良医療センターは、教育研究に係る連携・協力に関する協定を締結しました。今回の協定締結により、臨床研究を通じた相互交流が期待されるとともに、学生が広い視野を身に付ける機会を得ることができ、学位取得後も近隣地域を含めた多様な場所で活躍できる力を養う一助になると期待されます。



平成30年度学位記授与式、修了証書授与式を行いました

平成31年3月13日(水)・25日(月)

3月13日(水)、岐阜大学講堂にて、平成30年度岐阜大学大学院連合農学研究科・連合獣医学研究科の学位記授与式を行われ、博士課程30名、論文博士5名が卒業・修了しました。

3月25日(月)は、長良川国際会議場にて、平成30年度学位記授与式を行い、学部学生1,261名、大学院学生534名が卒業・修了しました。また、平成30年度岐阜大学流域水環境リーダー育成プログラムの修了証書授与式も行われ、森脇学長は英語で祝辞を贈りました。平成30年度は、博士課程6名(中国4名、インドネシア2名)、修士課程14名(日本9名、中国3名、インドネシア2名)が本プログラムを修了しました。

